

牟岐町創生 二本の柱

「人づくり」と「健康」

現在の牟岐町の産業は、一次から三次に至るまで、非常に厳しい状況にある。かつては、日本有数と言われた町の漁業も毎年のように水揚げが落ち、若者が家族を養っていくことが困難になっている。農業も同様に、若者が夢を持ち汗を流せる状況になく、商工業も毎年のように売り上げが落ちている。また、今年の国勢調査の結果、前回より、人口が566人(約11・7%)減少し、平成28年1月末時点での高齢化率も46・3%となっている。28年度は、このような状況を改善し、牟岐町を創生するため、また、将来に渡り持続可能な町づくりを図るため、今年度策定した総合計画を着実に推進したい。

牟岐町創生の施策は、牟岐町を支える『人づくり』と、その全ての人々が全力

で、また、生涯生き甲斐を持ち働けるよう、『健康』をテーマとして、各種施策を展開したい。

『人づくり』をテーマとした町づくりとは、平成26年より、毎年、全国の高校生を対象としたサマースクールが実施されているが、これまでのHLAB関係者などによる地元の高校生を対象とした研修やワークショップなどの活動を通じ、グローバル人材や起業精神に富む人材の育成だけでなく、仕事の創造、交流人口の増加につなげようとするものである。

また、『健康』をテーマとした町づくりとは、県下でも保険給付率が高い国民健康保険財政を、できるだけ健全化するという目的もあるが、やはり、人間が充実した人生を送るためには、何よりも健康であることが

定住自立圏形成協定

阿南市・牟岐町・



阿南市と定住自立圏形成協定の調印式

重要である。多くの人は、病気になるまで初めて健康の重要性に気付くが、牟岐町の多くの人々に、まずは常日頃から健康の有難さを知ってもらい、健康であるための努力をしていただき、健康的な食事や運動を継続していただきたい。そして、健康をテーマとした各種取り組みを通じ、全ての人々の健康はもちろん、交流人口の増加と仕事の創造を図っていききたい。

コンセプトを柱にまとめていくが、具体的な施策としては、ローカルハイスクールの実施、空き家の活用、中小企業を支援するエコノミックガーデニングの推進、農林水産業の支援、着地型観光の推進、観光振興のための環境整備、教育研究機関との連携、子育て世代への経済的支援、牟岐町版CRCの推進、災害に強い地域づくりの推進、地域間連携の推進等を実施する計画である。

特に今年度予定の事業として、海部病院の高台移転開業に合わせた町道の整備、出羽島重要伝統的建造物群の選定のための取り組みと選定後の島内施設の活用にもむけた各種事業の実施、町内の観光用案内板等の付け替え、子育て支援のための施設改修、防災センターの設置に向けた設計、第2子以降の保育料の無料化等を予算計上している。

持続可能な牟岐町を創生するため、未来を担う逞しい子ども達の育成と、牟岐町で生きる全ての人々が生き甲斐を持ち生涯を送れるよう健康であり続けること、そして、あらゆる災害にも強い町づくりという、行政として真に必要な目標を見失うことなく、原点に立ち、着実に実績を積み重ねていきたい。牟岐町創生とは、町内の全ての皆さんの熱意が作り上げるものであり、一部の人々の努力により達成できるものではない。町民の皆様が総じてそれを願わない限り困難であることをご理解いただきたい。